



## 共生社会の実現へ 認知症基本法



6月14日、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」(認知症基本法)が参院本会議で全会一致で可決され、成立しました。総理大臣を本部長として基本計画を作り、総合的に認知症施策を推進、都道府県や市町村に計画策定が義務づけられます。同時に9月21日が認知症の日と定められました。国民の責務として、共生社会実現への寄与が盛り込まれています。基本法は国の制度・政策に関する基本方針を示し、親法として他の法律や行政に優越的地位を持ち、基本法に示された方針に基づいて個別法が遂行されます。

### 目的

認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症施策の総合的、計画的な基本となる事項を定めることにより、人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生社会の実現を推進すること









### 認知症の定義

アルツハイマー病その他の神経変性疾患、脳血管疾患その他の疾患により日常生活に支障が生じるまで認知機能が低下したと政令で定める状態

### 基本理念

①本人・家族の意向尊重②国民の理解・共生社会③切れ目のない保険医療・福祉サービス  
④本人家族等への支援⑤予防・リハビリテーション等の研究開発⑥総合的な取り組み

## 認知症基本法における基本的施策

1 国民の理解の増進		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校教育、社会教育</li> <li>● 理解を深める運動展開</li> </ul>
2 バリアフリー化の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通手段、交通安全の確保</li> <li>● 生活サポートのための製品、サービスの開発・普及</li> </ul>
3 社会参加の機会の確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生きがいや希望をもって暮らせる社会参加の機会</li> <li>● 事業主に対する認知症知識普及による雇用継続・就職</li> </ul>
4 意思決定の支援 権利利益の保護		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 支援指針策定、情報提供促進</li> <li>● 消費者被害防止の啓発</li> </ul>
5 保健医療・福祉サービスの提供体制の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 専門的な医療機関の整備</li> <li>● 地域包括ケアシステムによる保健医療・福祉の連携</li> <li>● 医療介護者の研修、人材確保、資質向上</li> </ul>
6 相談体制の整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 相談に応ずるための体制整備</li> <li>● 認知症・家族同士が交流する活動(ピアサポート)支援</li> <li>● 認知症対処についての学習機会の提供</li> </ul>
7 研究開発の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予防・診断・治療・リハビリテーション・介護方法の研究・成果の活用(そのための研究基盤の構築)</li> </ul>
8 認知症の予防		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予防推進(啓発・情報収集等)</li> <li>● 早期発見・早期対応(地域包括支援センター等の連携協力)</li> </ul>

上記のほか、多様な主体の連携等、認知症施策の策定に必要な調査の実施、国際協力・情報交換等



■ 衆議院「第211回国会共生社会の実現を推進するための認知症基本法案」  
[https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=505AC1000000065\\_20240615\\_00000000000000](https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=505AC1000000065_20240615_00000000000000)



健康長寿

# 変形性関節症のケア



ケア・ライフ・デザイン

きらみさお

代表 吉良 操

変形関節症は、加齢や運動、体重などの負荷により、関節に変形をきたした状態です。関節の間にある軟骨がすり減ったことでなめらかに動かなくなり、関節の骨などが摩擦を起こして炎症を起こし、水がたまったりする症状のことです。

生活習慣を変えることで、

●緊張した筋肉をほぐす。●拘縮した関節の可動域を拡大する。●血行を促進する。●痛みをきっかけに低下した筋力を向上させる。ことなどで、運動機能を回復させることが期待できます。

## 変形性関節症 気をつける生活習慣ケア

### 運動



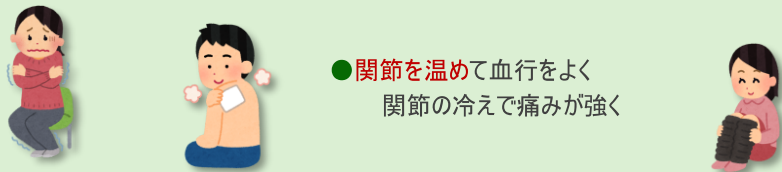
- 症状が強くない時には**ストレッチ運動**  
関節周囲の柔軟性、筋力保つ
- 横たわって脚をあげる運動**  
関節に負担をかけずに関節周囲の筋肉を維持

### 体重コントロール



- 肥満の人は**体重減量**で症状が改善  
下肢の関節痛があると**運動量**が減り体重増加に

### 冷えを避ける



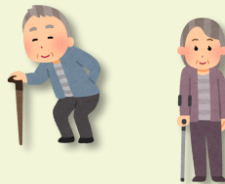
- 関節を温めて**血行をよく  
関節の冷えて痛みが強く

### 生活環境を洋式に



- ベッドで寝起き**、イスでの食事、洋式トイレに  
畳、正座、和式トイレは膝関節、股関節に負担

### 杖の利用



- 痛みが強い関節の**反対側**の手に杖をつく  
歩行時の関節や股関節への負担減らす



■ 長寿科学振興財団 健康長寿ネット「変形性関節症のケア」  
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202106/2.html>



できていますか…? 部下、従業員をまもる

## カスタマーハラスメント対策



2023年**9月15日**(金) 15:00~16:30

無料 GREEN CARE FORUM Online

お問い合わせ先

TEL:047-433-1012 FAX:047-433-1034



# きぬせん福祉用具研究会

kinusen

〒273-0021 千葉県船橋市海神4-9-18(1F)